

放課後等ディサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年4月1日

事業所名

やわらキッズ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		子どもの障がい特性や利用人数に応じてスペースを調整している	
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		子どもの障がい特性や利用人数に応じて職員の配置数を調整している	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		バギーが利用しやすいよう段差のない入口にする等、事業所をバリアフリー化している 事業所がビルの2階にあるため、ビル内に福祉用エレベーターを設置している	事業所前の廊下が狭いとの指摘に対しては、バギーを置く位置を改善する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		サービス開始前及び終了後に清掃を行い、アルコールや次亜塩素酸による感染予防対策を行っている	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		カンファレンスを実施している シフトに全く入っていない職員、月1回勤務及び週1回勤務の職員については、個別的に情報共有を行っている	
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		カンファレンスを実施して情報共有している	
	7 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		評価結果をホームページで公表している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	事業所内で客観性を持って評価し、業務改善に繋げている	第三者による外部評価を行っていない
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		事業所内研修を実施している	シフトに全く入っていない職員、月1回勤務及び週1回勤務の職員については、外部研修等を活用する
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		直接支援を行う看護師、理学療法士等の専門家と意見交換を行っている	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		重症心身障がい児の障がい特性に応じたアセスメントツールを使用している	
	12 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		看護師、理学療法士等の専門家が児童発達支援管理責任者が作成した支援計画に基づいて、重症心身障がい児に応じた活動プログラムを立案している	
	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		生活環境や子どもの体調等に変化があった場合は、活動プログラム内容を変更している	
	14 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		子どもの生活環境や体調等に応じて支援内容を調整している	
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		医療的ケア、機能訓練、入浴等、障がい特性に応じた個別活動を計画している 医療的ケア、機能訓練、入浴等に時間がとられ、集団での活動は困難である	
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		サービス開始前に職員間で子どもの状況確認を行う時間を設けている	
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		サービス終了後に職員間で情報共有を行う時間を設けている	
	18 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		バイタル、医療的ケア、機能訓練、入浴等の記録を作成している	
	19 定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		生活環境、子どもの体調の変化があった場合は、支援計画を変更している 最低でも6か月に1回、支援計画の見直しを行っている	
	20 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		重症心身障がい児の障がい特性に応じた支援内容を設定している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		直接支援を行っている看護師、理学療法士等の専門家が参画している	
	22	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時を利用して学校や保護者と情報共有を行っている	
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		併設する訪問看護ステーションと併用しているため、主治医との情報共有を常に行っている	
	24	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		特に医療的ケア、機能訓練等について情報共有を行っている	
	25	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		特に医療的ケア、機能訓練等について情報共有を行っている	
	26	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		子どもが併用する他の専門機関と情報共有を行っている	
	27	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		保護者から要望があれば検討したい
	28	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	保健所が開催する会議等へ参加している	マンパワー不足で参加する余裕がない
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時にその日の子どもの様子を保護者に必ず伝えている	
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		医療的ケアや機能訓練について、保護者支援を行い、信頼関係を築いている	
保護者への説明責任等	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		説明者を中心に運営規程や利用者負担等について熟知するための勉強会を実施している	
	32	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日頃から医療的ケア、機能訓練等について、保護者支援を行い、信頼関係を築いている	
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者主体の活動があれば支援を検討したい
	34	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		満員時でも利用の要望があった際は、他の事業所と連携して、子どもができるだけサービスを利用できるよう努力をしている	
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		その都度、文書を作成して個別に案内している	
	36	個人情報に十分注意している	○		ウィルス対策ソフト、安全な請求システムの導入を行っている FAX送信の際は、個人情報をマスキングしている	
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもの状態を看護師、理学療法士等の専門家の視点からわかりやすく伝えている	
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		行事は開催していないが、地域住民に対してホームページやブログを通じて発信している	
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		シフトに全く入っていない職員、月1回勤務及び週1回勤務の職員については、個別的に情報共有を行っている	
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		シフトに全く入っていない職員、月1回勤務及び週1回勤務の職員については、個別的に情報共有を行っている	避難経路図等の配布を検討する
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		シフトに全く入っていない職員、月1回勤務及び週1回勤務の職員については、個別的に情報共有を行っている	
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		決定の際は、必ず、保護者や保健所等と相談するようにしている	
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		併設する訪問看護ステーションと併用しているため、主治医と情報共有を常に行っている	
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		カンファレンスを実施している シフトに全く入っていない職員、月1回勤務及び週1回勤務の職員については、個別的に情報共有を行っている	